

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

12月10日に祝津ホタテ養殖漁場のホタテ部会の試験用桁で、表層から水深30mの浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。5月12日に垂下した試験籠への付着状況では 57個体と、先月の164個体から急減しました（図1）。付着サイズは平均46.4mm（最大63.7mm、最小23.9mm）でした（図2）。ザラボヤ付着器には付着は確認できず（表2）、小型個体の付着は確認されなかったことから（図2）、10月中旬から11月中旬ごろに籠への新規の付着はほとんど無かったものと考えられます。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ	
				個	個/トッ
ホタテ部会の 調査桁	0~30m	4.7~12.2	0.43~1.33	0	0

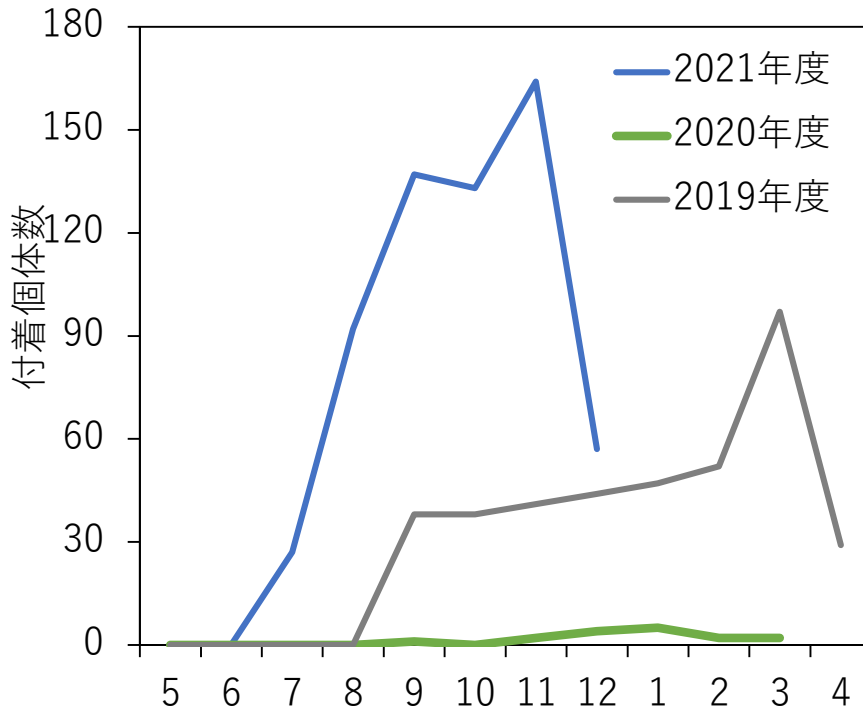


図1：籠へのヨーロッパザラボヤの付着数の変化

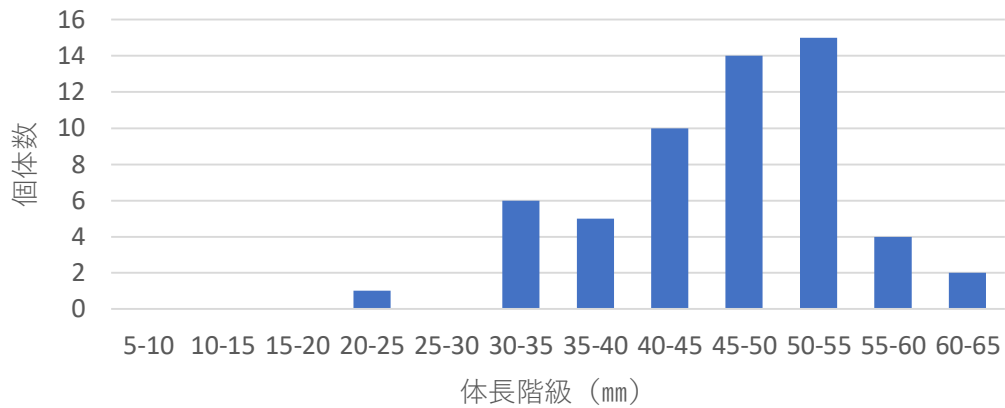


図2：体長階級別ザラボヤ付着個体数

表2：ザラボヤ付着器への付着数

設置	回収	付着数
5月12日	7月14日	21
6月16日	8月6日	0
7月14日	9月15日	1
8月6日	10月7日	0
9月15日	11月18日	3
10月7日	12月10日	0

写真1 ザラボヤ付着器



【参考資料】

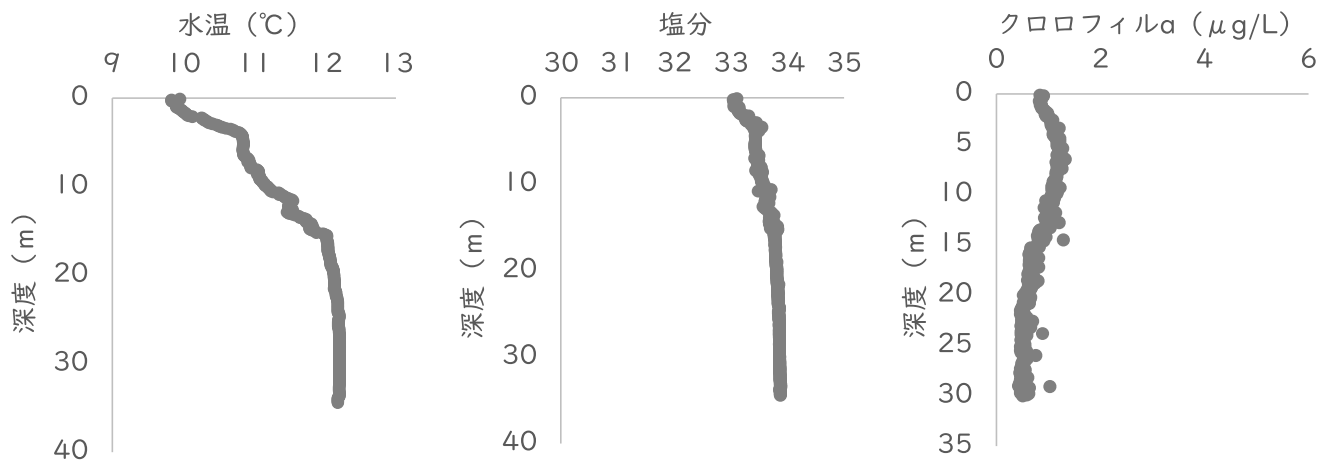


図3：ホタテ部会調査桁の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：1月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>